

2018年9月3日  
イオン九州株式会社

## 「DBJ 健康経営(ヘルスマネジメント)格付」 九州の小売業で初の2年連続最高ランクを取得！

イオン九州株式会社（代表取締役社長：柴田 祐司、以下 当社）は、株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：渡辺 一、以下 DBJ）の「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」において、九州の小売業では初めての2年連続最高ランクの格付を取得いたしました。

「DBJ健康経営格付」は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付けシステム）により企業の従業員への健康配慮の取り組みを評価。優れた企業を選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、イオングループの一員として地域に根ざした事業展開を行っている九州地区における代表的な総合小売事業者として、「従業員の健康づくりが企業活動の要である」という考えのもと、健康経営を推進しています。

今回の格付では、特に以下の取り組みが高く評価されました。

### 【DBJ 健康経営格付】

1. 全社中期計画の達成を支える組織・風土づくりとして健康経営施策を位置づけ、ダイバーシティ経営の推進や時間外労働削減などの取り組みについて、意義および方向性を経営層から年度方針の中で全従業員に向けて発信していること
2. 管理本部長を健康経営推進責任者、人事部門および健康相談室を事務局とした健康経営の推進体制を整備していることに加え、各事業所に健康推進担当者を置き、健康相談室のサポートのもと、現場ごとにストレスチェックの結果をふまえた課題の把握と施策の立案を行うことで取り組みの浸透を図っていること
3. 全従業員を対象とした心身に関する複数のデータ分析を行なっていることに加え、モラルサーベイを通じた従業員の意見を吸い上げる仕組みを有し、シニア活用制度の導入や転勤制度の改定を始めとした「ライフスタイルプラン」を導入し、大幅な人事施策の見直しに生かすなど、課題把握を踏まえた対策を実施していること

当社はこれからも、従業員の健康増進を重視し、健康管理を重要な経営課題として位置づけ、従業員と家族の健康をサポートしてまいります。そして従業員とともに健康とハピネスな地域社会の実現に取り組めます。



当社は、平成30年8月日本政策投資銀行（DBJ）より健康格付融資を受け、格付結果は「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」と評価されました。